

第61回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年4月21日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第61回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○市村国土交通大臣政務官

- ・現在、国会対応中で県災害対策本部会議と行ったり来たりしている状況である。
- ・発災から1ヶ月以上を経過してくると、それぞれの対策に個別具体的に調整が煩雑して来ているので、こういう時こそ正念場であり、1つ1つ課題を国・県・市町村が協力し合い解決し対応していきたい。
- ・正しい情報を把握、分析、解決手段を全員で力を合わせて実施していくことが大事である。

○村井災害対策本部長

- ・被災した公共土木施設等の復旧・復興行程について、説明したい。
- ・津波浸水区域外を中心に災害調査が進み、現在約8割程度の被害調査が完了した。
- ・災害復旧事業については、発災の年も含めて3年間で復旧することが原則となっているが、事業期間を5年間まで、平成27年まで延長していただくよう、この場を借りて国に要望させていただきたい。よろしくお願ひしたい。
- ・こうしたことを踏まえ、公共土木施設等の復旧行程を施設ごとに明確にし、目標を持って取り組むこととした。詳細は、資料のとおりである。

○小野寺危機管理監

- ・被害の状況について、死者8,368人、行方不明者7,785人である。
- ・住家等の被害について、全壊が46,315棟、半壊が9,344棟である。
- ・被害額、仙台管区気象台の情報について、資料のとおりである。

○今野総務部長

- ・株式会社セイワから軽自動車3台寄贈があった。

○伊藤企画部長

- ・在来線、東北本線について、本日から運転を再開した。
仙台・一関間、岩切・利府間、ほぼ通常とおりのダイヤである。
- ・石巻専修大学に機能を移転し、石巻合同庁舎ネットワーク通信が可能となった。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原始力発電所事故に係るモニタリング結果、数値がやや低下した。

○岡部保健福祉部長

- ・震災孤児について、石巻市で1人減少したが、岩沼市で1人増加し総勢51人である。
- ・障害者の支援について、各障害者団体が現地対策本部を設置し支援活動を実施した。
- ・活動ボランティア総勢1,962人と2,000人を下回った。
- ・東北自動車道泉料金所跡地に兵庫県と兵庫県社会福祉協議会において「ボランティアインフォメーションセンター」を開設した。仙台駅の2階にもボランティア情報ステーションあり、情報を伝達している。

○河端経済商工観光部長

- ・特になし。

○千葉農林水産部長

- ・特になし。

○橋本土木部長

- ・公共土木施設等の復旧・復興行程については、村井災害対策本部長の発言とおりである。
- ・セントラル自動車株式会社で生産された完成自動車の積み出しが4月21日～再開予定である。
- ・コマツ建設販売(株)東北カンパニーから無償提供された重機14台を4月20日に石巻・気仙沼方面に配置した。
- ・宮城復興だよりを発行。県内4ブロックに分けた地域版を作成し、避難所にいる方にもお知らせしている。

○自衛隊

- ・特になし。

○警察本部

- ・20日現在、ご遺体36体収容し、総数8,539体である。
- ・引き渡し状況について、8,539体のうち、計8,200体引き渡した。

○東北電力(株)

- ・昨日16時現在、82,735戸停電、停電率6%である。754戸減少した。
- ・気仙沼市、石巻市、塩釜市を中心に回復した。

○小林教育長

- ・本日、多くの学校で新学期の始業式を迎えることができた。関係機関の支援に感謝する。

○伊藤企業局長

- ・工業用水道関係について、4月20日に泉パークタウン、大和リサーチパークエリアが、復旧した。多賀城・七ヶ浜・塩釜港エリアについては、本日復旧で進めている。

- ・73件中72件復旧。

○村井災害対策本部長

次回は4月22日10時000分に開催する。